

跡倉礫岩

Atokura conglomerate

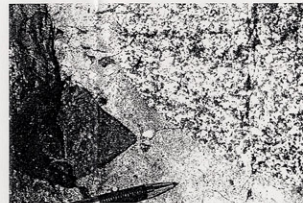
地球の窓探索コース



この下の南牧川にそって露出しているのが跡倉礫岩です。礫の大きさはさまざまで、花崗岩や石英閃緑岩がめだちますが、ほかに砂岩、泥岩、石灰岩、チャート、玄武岩質凝灰岩、はんれい岩、ホルンフェルスなどもふくまれています。地殻変動のときの強い力によって、変形したり切断されたりした礫も見られます。礫のあいだをうめている砂の部分(基質)は、石英・長石の破片やホルンフェルスの岩片などです。礫の中に、すぐ北にそびえる川井山の山体をつくっている石英閃緑岩、ホルンフェルスと同じ岩石がふくまれています。これは、8千数百万年前の白亜紀後期にこの礫岩が堆積したとき、石英閃緑岩やホルンフェルスは地表にでていて浸食され、礫を供給していたことをしめています。跡倉礫岩は、跡倉層が堆積をはじめたときの最初の地層(基底礫岩)とされています。



いろいろな礫



石英閃緑岩とザクロ石ホルンフェルス